学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	/First Semester 2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030B2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001	111H J 7 000100 0000	00010000
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	遠藤 愛子/ENDO Aiko		
course syllabus	ZEBA Z 7 ENDO ANNO		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	遠藤 愛子/ENDO Aiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	遠藤 愛子/ENDO Aiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		•
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	endoa nagasaki-u.ac.jp (メール	レをする際は、 を@に置き換えてく	ださい。)
担当教員研究室/Office	427		
担当教員TEL/Tel	095 819 2728		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な 自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 王体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする刀 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 donce the comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加 (2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答 (20点×2回 = 40点) + レポート (30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演 習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL) supportをml. nagasaki-u.ac. jp 備考/Remarks 学生へのメッセージ/Message for students 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験の容 と表授業科目のみ使 用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 授業内容 / Contents 第1回 オリエンテーション: 担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 第2回 環境科学人門: 担当教員とよる演習・1 (アクティブラーニング、グループワーク、ボートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループラークの開始(1) 「Attention (アクティブラーニング、グループワーク、ボートフォリオ) 第5回 グループラークの開始(1)			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) コルフは、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下され。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-IMAIL)support®ml.nagasaki-u.ac.jp 備考/Remarks 原則対面で実施します。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience / Ex務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 第2回 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 第3回 国際交流委員会による演習・1(アクティブラーニング、グループワーク、ボートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)			
with disabilities) さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) supportを耐しnagasaki-u.ac.jp 原則対面で実施します。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名 / 実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
with disabilities) Policy Policy	アクセシビリティ/Accessibility (for students		
(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support®ml.nagasaki-u.ac.jp 原則対面で実施します。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 実務経験のある教員による授業科目であるか ((Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time (date and time) 授業内容 / Contents 第1回 オリエンテーション: 担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 第2回 環境科学入門: 担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 第4回 大教センター教員による演習-1 (アクティブラーニング、グループワーク、ボートフォリオ) 第5回 グループライスの規定 第6回 グループワークの開始(1)	with disabilities)		
(E-MAIL) supporteml.nagasaki-u.ac.jp 備考/Remarks 原則対面で実施します。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験のある教員による授業科目のみ使 用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 授業内容 / Contents 第1回 オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 第2回 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 第4回 大教センター教員による演習・1 (アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)	'		
### 「原則対面で実施します。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 授業内容 / Contents 第1回 オリエンテーション: 担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 第2回 環境科学入門: 担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 第4回 大教センター教員による演習・1 (アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)			
学生へのメッセージ/Message for students「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experienceN実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験にある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course// Contents of course授業計画詳細 / Course Schedule回(日時) / Time(date and time)授業内容 / Contents第1回オリエンテーション: 担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等第2回第2回環境科学入門: 担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど第3回国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)第4回大教センター教員による演習・1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)第5回グループ分け、テーマの決定第6回グループワークの開始(1)	/井子/Domorko		
学生へのメッセージ/Message for students https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 授業内容 / Contents 第1回 オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 第2回 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 第4回 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ボートフォリオ) 第5回 グループワークの開始(1)	湘右/ Remarks		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 授業内容 / Contents 第1回 オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等第2回 環境科学人門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 第4回 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)	学生へのメッセージ/Message for students		
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 授業内容 / Contents 第1回 オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等第2回 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 第4回 大教センター教員による演習-1 (アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)第5回 グループ分け、テーマの決定第6回 グループワークの開始(1)	宝務経験のある数員による授業利用であるか	inttps://www.minov.nagasaki-u.ac.jp/content-resurt/student/	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course/ Details of practical experience / Contents of course授業計画詳細 / Course Schedule授業内容 / Contents回(日時) / Time(date and time)授業内容 / Contents第1回オリエンテーション: 担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等第2回第2回環境科学入門: 担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど第3回国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)第4回大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)第5回グループ分け、テーマの決定第6回グループワークの開始(1)		N	
用)/Name / Details of practical experience / Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 授業内容 / Contents 第1回 オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 第2回 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 第4回 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)			
Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule 授業内容 / Contents 第1回 オリエンテーション: 担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等第2回 環境科学入門: 担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)	育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使		
授業計画詳細 / Course Schedule回(日時) / Time(date and time)授業内容 / Contents第1回オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等第2回環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど第3回国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)第4回大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)第5回グループ分け、テーマの決定第6回グループワークの開始(1)	用)/Name / Details of practical experience /		
(日時) / Time(date and time)授業内容 / Contents第1回オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等第2回環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど第3回国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)第4回大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)第5回グループ分け、テーマの決定第6回グループワークの開始(1)	Contents of course		
第1回 オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 第2回 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 第4回 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)	授業計画詳細 / Course Schedule		
第2回 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 第4回 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)	回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第3回 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 第4回 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)	第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等	
第4回 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) 第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)	第2回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど	
第5回 グループ分け、テーマの決定 第6回 グループワークの開始(1)	第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)	
第6回 グループワークの開始(1)	第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)	
	第5回	グループ分け、テーマの決定	
□⇒た次型用たゴノゲンフノナン・**ラン・**ン	第6回	グループワークの開始(1)	
男/四	第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)	
第8回 グループワーク(2)	第8回	グループワーク(2)	
	第9回	大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキ	
JV)			
第10回 グループワーク(3)	第10回	グループワーク(3)	
第11回 中間報告	第11回	中間報告	
第12回 グループワーク (4)	第12回	グループワーク (4)	
第13回 【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育	第13回	【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育	
第14回 グループワーク(5)	第14回	グループワーク(5)	
第15回 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)	第15回		

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5	
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27			
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	202305810030B3	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大田 真彦/OTA Masahiko			
授業担当教員名(科目責任者)	大田 真彦/OTA Masahiko			
/ Instructor in charge of the course 授業担当教員名 (オムニバス科目等)	大田 真彦/OTA Masahiko			
/ Instructor(s)	*************************************		2 開刊 17	
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar	
教室/Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生	/	+45-7441-T	
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masahikoota nagasaki-u.ac.jp	(メールを送信する際は、 を@に置	き換えて送信して下さい)	
担当教員研究室/Office	環454(環境科学部4階)			
担当教員TEL/Tel	095-819-2731			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールでアポイントメ	(ントをとること) もに、知的活動への動機づけ、論理!		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	他者と協調・協働して問題解決 ディスカッション、プレゼンラ	論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な 自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society			
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 vtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 bry/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される fry/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加 (2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答 (20点×2回 = 40点) + レポート (30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照 			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)			
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力			
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。			
受講要件(履修条件)/Prerequisites				

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks 学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は基本的に対面形式で実施します。オンラインを用いる回については事前に連絡します。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始(1)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回	グループワーク (2)
第9回	大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)
第10回	グループワーク (3)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(4)
第13回	【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク (5)
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
開講期間 / Course duration	/First Semester 2023/04/01 ~ 2023/09/27		
用确知 / Course duration		単位数(一般/編入/留学)/Credits	
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	(General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030B4	科目番号/Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境)/Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	 西久保 裕彦/HIROHIKO NISHIKU	ВО	
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西久保 裕彦/HIROHIKO NISHIKU	B0	
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西久保 裕彦/HIROHIKO NISHIKU	ВО	
科目分類 / Course Category	 数差ガミナー 、私日 数差ガミナ		選択利日 / Flactive Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	曲我//> // Course Style	/央目 / Sellittlat
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office	環448(環境科学部実験棟4階)		
担当教員町九至/01110e 担当教員TEL/Tel			
担当教員「EL/Tel 担当教員オフィスアワー/Office hours	大曜日12時から13時		
担当教員オフィステラー/OTTICE Hours		 もに、知的活動への動機づけ、論理	の田老とその実現方法の翌得 の田老とその実現方法の翌得
授業の概要及び位置づけ/Course overview	を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な 自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dr>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 dents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される f.教員からの講義のみで構成される f. t consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回 = 40点) + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演 習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れ	ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
アクセシビリティ/Accessibility (for students	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
with disabilities)	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面ですが、オンデマンドとリアルタイムオンラインの回もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
1 ± 1000 × 0 E 10 / moosaage for eladerite	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	l _N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
\$4 6	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等(対
第1回	面)
\$ 20	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど(
第2回	対面)
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
\$ 4 D	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)(対
第4回	面)
第5回	グループ分け、テーマの決定(対面)
第6回	グループワークの開始(1)(対面)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(リアルタイムオンライン)
第8回	グループワーク(2)(対面)
	大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキ
第9回	ル) (対面)
第10回	グループワーク(3)(対面)
第11回	中間報告(対面)
第12回	グループワーク(4)(対面)
第13回	【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育(リアルタイムオンライン)
第14回	グループワーク(5)(対面)
	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)(
第15回	対面)

学期 / Semester	2023年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5	
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27			
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	202305810030B5	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	渡辺 貴史/Watanabe Takashi			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	渡辺 貴史/Watanabe Takashi			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	渡辺 貴史/Watanabe Takashi			
科目分類 / Course Category	┃ 数春ゼミナール科目、数春ゼミナ		選択科目 / Flective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
教室 / Class room	・,	HTTP:/// COULDE ONLY TO	IX E / COMMING	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	twatanab nagasaki-u.ac.jp(メ			
	環430	一かをする际は、をで自己投入し	- \ /LCV10)	
担当教員研究室/Office				
担当教員TEL/Tel	819-2718			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日12:00~12:40	 もに、知的活動への動機づけ、論理!	竹田老しての志田七辻の翌年	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	他者と協調・協働して問題解決 ディスカッション、プレゼンラ	論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な 自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society			
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 vtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される strong in the strong is the strong in the strong is the strong i			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回 = 40点) + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照 			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)			
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力			
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。			
受講要件(履修条件)/Prerequisites				

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@nl.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則、直接対面方式により実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始(1)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回	グループワーク(2)
第9回	大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)
第10回	グループワーク(3)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク (4)
第13回	【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク (5)
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)

2023/04/11 - 2023/05/12 中央	学期 / Semester	2023年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
参照 選択、自由 / required / Elective	開講期間 / Course duration			
経費料目名 Zourse title 初年次とこので 初年次とことで、環境) / First-Vear Seminar 無照 規一数数(This tructor in charge of the course 機業担当数員名(オムニバス科目等) / Instructor in charge of the course 提業担当数員名(オムニバス科目等) / Instructor in charge of the course 提業担当数員名(オムニバス科目等) / Instructor in charge of the course 規業担当数員名(オムニバス科目等) / Instructor in charge of the course 規業担当数員名(オムニバス科目等) / Instructor in charge of the course 対象をZourse Category				1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
超算知過去 / Course stritle	時間割コード/Time schedule code	202305810030B6	科目番号 / Course code	05810030
超算知過去 / Course stritle	科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
選集担当教員 / Instructor in charge of the course course syl abus (学業担当教員 / Instructor in charge of the course (学業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course (学業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s) 思田 房 / Satoru Kuroda / Instructor(s) 思田 房 / Satoru Kuroda / Instructor(s) 邦東ゼミナール科目、教育ゼミナール科目、大学院科目(帰途)、自由選択科目 / Elective Courses 対象学生 / 1、2、3、4			t-Year Seminar	
### 提供当教育名(科目責任者)				
### ### ### ### ### ### ### ### ### #	授業担当教員名(科目責任者)	黒田 曉/Satoru Kuroda		
# J Satoru Kuroos 利目分類 / Course Category 教育ゼミナール科目、教育ゼミナール科目、大字院科目[構造]、自由選択科目 / Elective Courses 利意 # J L 2、3、4				
対象年次		黒田 曉/Satoru Kuroda		
対象学生(クラス等)	科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象学生(クラス等) / Intended year (class) 超当教育にメールアドレス/E-mail address 超当教育に大の行行で	対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
###	教室/Class room	学部問い合わせのこと		
担当教員研究室/Office 担当教員オフィスアワー/Office hours 新人生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新人生が別めて出会う理解科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて範動的グリープ学育を通し、対会科学的または自然科学的などのようには自然科学的などので学習活動を同う情報というディアのリコンテーションによる表現方法などについて学が、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履徒しの協画を専用確認する。以上により、本学部での学習活動を同う情に進めることをわらいとする。 「機業到達目標/Course goals 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育を通して身につけて飲います。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間というにはいました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間というにはいました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人間を持ちました。」 「大学教育の人にいいました。」 「大学教育の人にいいました。」 「大学教育の人にいいました。」 「大学教育の人の影響のみ、不穏成される。 (大学教育の、大学、人にいいました。」) 「大学教育の、大学教育の、大学教育の質の、大学教育の、大学教育の、大学、人にいいました。 「大学教育の人にいいました。」 「大学教育の人にはいいました。」	対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員TEL/Tel 担当教員TJ-T-Z-TD-/Office hours 本曜:10:30-12:00 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が別めて出会う環境科学という学問が野の概要を説明し、受講を目的とする。具体的には、新入生が別めて出会う環境科学という学問が野の概要を説明し、受講を目的とする。具体的には、新入生が別めて出会う環境科学という学問が野の概要を説明し、受講を目がという学問が関係である。具体的には、新入生が別めて出会う環境科学という学問が野の概要を説明し、受講を目前によることができる。と、文社会科学的または自然科学的な思考方法などについて学ぶ。高校までの教師主度型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション場際も果たす。また、カリキュラムと履権上の副意点等を再確能する。以上により、本学的での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 論理が・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部の-5)ディスカッション、ブレゼンテーション、ガープーク・日本との基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部の-2) 別語・技能以外に、この授業を通して身につけて飲い力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) A 提供のできるようになる。(環境科学部の-2) A 提供のできるではできるようになる。(環境科学部の・2)を提供していまでは、自動・大力・Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson of the contents of the contents to the lesson of the contents of the co	担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skuroda nagasaki-u.ac.jp (
据当教員オフィスアワー/Office hours 木曜:10:30-12:00	担当教員研究室/Office	環431		
新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学会科学の数を記明し、受協生自らが選択した。アイマについて能動的グループで書き通じ、人文社会科学の数を記明し、受協思考方法、グループワークの進め方、実験・側点の計画法、文書やブレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も集とす。また、カリキュラムと応修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをおらいとする。 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-2) の世界ができるようになる。(環境科学部DP-2) の世界が表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) の世界が表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) の世界が表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) の世界が表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) の世界が表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) の世界が表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) の世界が表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) の場合はできるようになる。(環境科学部DP-2) の場合はできるようになる。(環境科学部DP-2) の場合はできるようになる。(環境科学部DP-2) の場合はできるようになる。(環境科学部DP-2) の場合はできるようになる。(環境科学部DP-2) の場合はできるようになる。(環境科学部DP-2) の場合はできるようになる。(環境科学部DP-2) の場合はできるようになる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) の場合とはなるようになる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学部DP-2) のはまたなる。(環境科学のとしていまないでは、は、ではいはできないでは、ないがはできないでは、ないでは、はいはできないでは、ないでは、はいはできないでは、ないでは、はいはできないでは、はいはできないでは、はいはでは、はいはでは、はいはでは、はいはでは、はいはでは、はいはでは、はいはでは、はいはでは、はいはでは、はいはでは、はいはでは、はいはでは、ないでは、はいはでは、		095-819-2732		
新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という社会科学的な影響を記明し、受講を関係を開発している。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という社会科学的なまたは自然科学的な思考が環界したアーマについて能動のグループ学習を通じ、入学科学的なおとは自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やブレゼンテーションによる表現を記事した。 まずの学習活動を円滑に進めることをおらいとする。 論理的・批判的に対象を考えることができる。(環境科学部DP-2) 信者と協調・接触して身につけて欲しい力(1つ以上3つます)/ Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜:10:30-12:00		
他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) デイスカッション、ブレゼンテーション、レボートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しいか(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動	授業の概要及び位置づけ/Course overview	を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(コの以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3) A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 本. 投業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 本. 投業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 本. 投業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 本. 投業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 本. 投業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 がおいまいます。 カース はいけにき to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 カース はいけにき to practice for acquiring skills カース はいけにき to practice for acquiring skills カース はいけにき that comprehensively unitize knowledge to solve problems 正. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 マレット での討議方は、ジェノー Tocohi議はなびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点)) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回 = 40点) + 未 習中に課す小課題(30点) = 合計100点のうち60点を合格とする。 事前学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h) 事後学習の執行を開きるよびも開きるよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h) 本学学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力	授業到達目標/Course goals	他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な		
A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 を対しています。	しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回 = 40点) + 演習中に課す小課題(30点) = 合計100点のうち60点を合格とする。各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson詳細は授業計画詳細を参照事前、事後学修の内容/Preparation & Review事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)キーワード/Keywords人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力	学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching	B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 b. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 c. 大まないけいでは、またいでは		
contents of each lesson) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回 = 40点) + 演		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h) 人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		 詳細は授業計画詳細を参照 		
自己表現能力	事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演		
	キーワード/Keywords		方法、学習・実験・調査の計画能力	、コミュニケーション能力、
教科書・教材・参考書/Materials 授業の進行に合わせ、必要が有れば随時指示する。	教科書・教材・参考書/Materials		 ば随時指示する。	

受講要件(履修条件)/Prerequisites	環境科学部1年生前期必修の演習科目となります。高校までにはなかった 「ゼミナール形式」の演習を体感し、楽しみながら大学での学びの作法を身につけましょう。
	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
アクセシビリティ/Accessibility (for students	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
with disabilities)	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	原則対面ですが、オンデマンド、リアルタイムオンラインの回もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
1 T TODAY C D / moddago Tot Students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	l _N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等【対
第 四	面】
第2回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど【 対面】
第3回	国際交流委員会による留学案内【オンデマンド】
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)
第5回	大学での調査・グループワーク事始め:グループ分け、テーマの決定 【対面】
第6回	大学での調査・グループワーク事始め:グループ分け、テーマの決定 【対面】
第7回	図書館資料収集ガイダンス【リアルタイムオンライン】
第8回	大学での調査・グループワーク事始め:グループワークの実施 【対面】
第9回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)
第10回	大学での調査・グループワーク事始め:グループワークの実施 【対面】
第11回	大学での調査・グループワーク事始め:中間報告【対面】
第12回	大学での調査・グループワーク事始め:グループワークの実施 最終報告へ向けて【対面】
第13回	【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	大学での調査・グループワーク事始め:グループワークの実施:最終報告の準備【対面】
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)
「集 I DI UI	∥取鯰牧市云∪夫加(ノレセノナーンョノC員矩心合)、レホート∪提击、まとめ(講評、総括)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030B7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro 		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	菊池 英弘/Kikuchi Hidehiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	菊池 英弘/Kikuchi Hidehiro		
科目分類 / Course Category	 数春ゼミナール科日 数春ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	・, _, o, · 学部問い合わせのこと	mass/17/2017 doctroo dry to	IXE 7 COMMING
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生		
		 ベールをする際は、 を@に置き換え	てください。)
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	, , ,	We you have a contact that	(//221/6/)
担当教員研究室/Office	環境科学部4階406		
担当教員TEL/Tel	095-819-2725		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日13:00~14:00	 もに、知的活動への動機づけ、論理	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な 自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 王体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 tudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回 = 40点) + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れ	ば随時指示する。	

受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面方式です。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始(1)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回	グループワーク(2)
第9回	大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)
第10回	グループワーク(3)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(4)
第13回	【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク (5)
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Course duration	/First Semester 2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030B8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001	作日田与 / Course code	03010030
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境)/Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	13 1 1/C = (30,5)() 1 110	t rour commun	
course syllabus	吉田 護/Yoshida Mamoru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 護/Yoshida Mamoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 護/Yoshida Mamoru		
科目分類 / Course Category	 教養ゼミナール科目, 教養ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	他者と協調・協働して問題解決	ることができる。(環境科学部DP-2) Rにあたることができる。(環境科等 - ーション、レポートなどの基本的等 環境科学部DP-2)	学部DP-5)
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 王体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	l .	議およびディスカッションへの積極 におけるプレゼンテーション・質疑 のうち60点を合格とする。	-
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れ	 ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	対面授業		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) 備考/Remarks	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@nl.nagasaki-u.ac.jp
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	N .
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始(1)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回	グループワーク (2)
第9回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)
第10回	グループワーク (3)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク (4)
第13回	【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク (5)
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)

学期 / Semester	2023年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030B9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高尾 雄二/Takao Yuji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高尾 雄二/Takao Yuji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高尾 雄二/Takao Yuji		
			婴扣利用 / Flootive Courses
科目分類 / Course Category 対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	ール科目,大学院科目[構造],自由 講義形態/Course style	選択科目 / Elective courses 演習 / Seminar
教室/Class room		m我形态/Course Style	供自 / Sellitial
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	学部問い合わせのこと 環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	根境付子部1年主 takao nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環323		
担当教員研允至/011106 担当教員TEL/Tel	- 現323 819-2753		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日8:50~9:30		
担当教員オフィステラー/OTTICE Hours		 もに、知的活動への動機づけ、論理	的田老とその主理士はの羽俎
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生自らが選択したテーマについて 思考方法、グループワークの進め 方法などについて学ぶ。高校まで ーション機能も果たす。また、カ 部での学習活動を円滑に進めるこ		会科学的または自然科学的なレゼンテーションによる表現る自主的学習へのオリエンテ確認する。以上により、本学
授業到達目標/Course goals	他者と協調・協働して問題解決	ることができる。(環境科学部DP-2) 中にあたることができる。(環境科学 Fーション、レポートなどの基本的学 環境科学部DP-2)	学部DP-5)
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competen Diversity 主体性 / Autonomy	ce 倫理観/Ethics 多様性の	理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
	A.授業内容の理解度を確認した	り自分で考えさせたりする活動 <br< td=""><td>>/ Activities to check the</td></br<>	>/ Activities to check the
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation		議およびディスカッションへの積極 におけるプレゼンテーション・質疑 のうち60点を合格とする。	-
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords		査の計画能力、コミュニケーション	能力、自己表現能力
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れ	ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

	崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
アクセシヒリティ/Accessibility (for students with disabilities)	障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにいては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下い。
/ アシ	シスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
	E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks 対面	面で行います
字生へ())メッセーシ/Message for students	長大生のためのラーニングティップス」
http	tps://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 アンバー・アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time) 授業	業内容 / Contents
第1回 オリ	リエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回 環境	境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回 国際	際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回 大教	教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)
第5回 グル	ループ分け、テーマの決定
第6回 グル	ループワークの開始(1)
第7回 図書	書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回 グル	ループワーク(2)
第9回 大教 ル)	教センター教員による演習-2 (ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキ)
第10回 グル	ループワーク(3)
第11回 中間	間報告
第12回 グル	ループワーク(4)
第13回 【7.	7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回 グル	ループワーク(5)
第15回 最終	終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)

学期 / Semester	2023年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		l
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030C1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001	111 H H H 7 000130 0000	03010030
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the		t rour commun	
course syllabus	長江 真樹 / Nagae Masaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	長江 真樹/Nagae Masaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	長江 真樹/Nagae Masaki		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目、教養ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		•
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagae nagasaki-u.ac.jp(を@	 に変更して送信してください)	
担当教員研究室/Office	環境科学部3階 環309-2 長江教		
担当教員TEL/Tel	095-819-2755		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜・火曜 9時~12時30分。これ	ı以外の時間帯もメールでの対応可。	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	他者と協調・協働して問題解決	5 ことができる。(環境科学部DP-2) 中にあたることができる。(環境科学 - ーション、レポートなどの基本的特 環境科学部DP-2)	学部DP-5)
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 王体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 c.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation		議およびディスカッションへの積極 におけるプレゼンテーション・質疑 のうち60点を合格とする。	-
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れ	 ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本的に教室(学生実験室B。環境科学部1階)での対面講義として実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始(1)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回	グループワーク(2)
第9回	大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)
第10回	グループワーク(3)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク (4)
第13回	【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク (5)
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	/First Semester		
用調期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27	W 42 WL / 40 /65 \ (57 24) / 6	1
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030C2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus	仲山 英樹/ Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	仲山 英樹/ Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	 仲山 英樹/ Hideki NAKAYAMA		
/Instructor(s)	THE CALL THROUGH		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakayamah nagasaki-u.ac.jp(>	メールをする際は、 を@に置き換え	てください。)
担当教員研究室/Office	環326 仲山教員室		
担当教員TEL/Tel	095-829-2750		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日の午前10時~12時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	他者と協調・協働して問題解決	ることができる。(環境科学部DP-2) 中にあたることができる。(環境科学 テーション、レポートなどの基本的学 環境科学部DP-2)	学部DP-5)
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competen Diversity 主体性/Autonomy	ce 倫理観/Ethics 多様性の	理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over b.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over b.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1	におけるプレゼンテーション・質疑	-
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れ	ば随時指示する。	

	グループワークを基本とするため、やむを得ない事情がない限り全回出席すること。講義に出席で
受講要件(履修条件)/Prerequisites	きない場合は、講義の開始前までに、仲山にメール(nakayamah nagasaki-u.ac.jp)で申告するこ
	と。
	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
アクセシビリティ/Accessibility (for students	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	講義は対面を原則とするが、第3回はオンデマンド、第7回はライブオンラインで実施する
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
回(日時)/Time(date and time) 第1回	授業内容 / Contents オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第1回 第2回 第3回【共通回】	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 【4/24 (月), 27 (木), or 28 (金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第1回 第2回 第3回【共通回】 第4回【共通回】	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど【4/24(月),27(木),or28(金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)
第1回 第2回 第3回【共通回】 第4回【共通回】	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど【4/24(月),27(木),or28(金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)グループ分け、テーマの決定
第1回 第2回 第3回【共通回】 第4回【共通回】 第5回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 【4/24 (月), 27 (木), or 28 (金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) グループ分け、テーマの決定 グループワークの開始(1)
第1回 第2回 第3回【共通回】 第4回【共通回】 第5回 第6回 第7回【共通回】	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 【4/24 (月), 27 (木), or 28 (金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) グループ分け、テーマの決定 グループワークの開始(1) 【5/29 (月)5校時】図書館資料収集ガイダンス(ライブオンライン)
第1回 第2回 第3回【共通回】 第4回【共通回】 第5回 第6回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど【4/24 (月), 27 (木), or 28 (金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)グループ分け、テーマの決定グループワークの開始(1)【5/29 (月)5校時】図書館資料収集ガイダンス(ライブオンライン)グループワーク(2) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)
第1回 第2回 第3回【共通回】 第4回【共通回】 第5回 第6回 第7回【共通回】	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど【4/24 (月),27(木),or 28(金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)グループ分け、テーマの決定グループワークの開始(1)【5/29(月)5校時】図書館資料収集ガイダンス(ライブオンライン)グループワーク(2) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキ
第1回 第2回 第3回【共通回】 第4回【共通回】 第5回 第6回 第7回【共通回】	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど【4/24 (月), 27 (木), or 28 (金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)グループ分け、テーマの決定グループワークの開始(1)【5/29 (月)5校時】図書館資料収集ガイダンス(ライブオンライン)グループワーク(2) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)
第1回 第2回 第3回【共通回】 第4回【共通回】 第5回 第6回 第7回【共通回】 第8回 第9回【共通回】	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど【4/24 (月),27(木),or 28(金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)グループ分け、テーマの決定グループワークの開始(1)【5/29(月)5校時】図書館資料収集ガイダンス(ライブオンライン)グループワーク(2)大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)グループワーク(3)
第1回 第2回 第3回【共通回】 第4回【共通回】 第5回 第6回 第7回【共通回】 第8回 第9回【共通回】	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど【4/24 (月),27(木),or 28(金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)グループ分け、テーマの決定グループワークの開始(1)【5/29(月)5校時】図書館資料収集ガイダンス(ライブオンライン)グループワーク(2) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)グループワーク(3)中間報告
第1回 第2回 第3回【共通回】 第4回【共通回】 第5回 第6回 第7回【共通回】 第8回 第9回【共通回】	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど【4/24 (月), 27 (木), or 28 (金)5校時】国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)グループ分け、テーマの決定グループワークの開始(1)【5/29 (月)5校時】図書館資料収集ガイダンス(ライブオンライン)グループワーク(2) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)グループワーク(3)中間報告グループワーク(4)

学期 / Semester	2023年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030C3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井口 恵一朗/Iguchi Keiichiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井口 惠一朗/Iguchi Keiichiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井口 惠一朗/Iguchi Keiichiro		
科目分類 / Course Category	┃ 数春ゼミナール科目、数春ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目 / Flective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと	,	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	keyichi nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環317		
担当教員TEL/Tel	095 819 2745		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールでアポイントメント	 を取ること。	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	他者と協調・協働して問題解決	ることができる。(環境科学部DP-2) 中にあたることができる。(環境科学 Fーション、レポートなどの基本的学 環境科学部DP-2)	学部DP-5)
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 王体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 c.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation		議およびディスカッションへの積極 におけるプレゼンテーション・質疑 のうち60点を合格とする。	-
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れ	ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
アクセシヒリティ/Accessibility (for students	さい。
lwith disabilities)	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
字主へのスッピーシ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
12×11 Elitting 7 course concease	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 :	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)
第5回	グループ分け、テーマの決定
第6回	グループワークの開始(1)
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第8回	グループワーク(2)
	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキ ル)
第10回	グループワーク(3)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(4)
第13回	【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク(5)
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)

学期 / Semester	2023年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030C4		05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	 初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 二郎/Okada Jiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 二郎/Okada Jiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 二郎/Okada Jiro		
科目分類 / Course Category	 教養ゼミナール科目, 教養ゼミナ	 ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	,	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jokada nagasaki-u.ac.jp(メー		(ださい。)
担当教員研究室/Office	環境科学部棟本館227室		
世当教員TEL/Tel	095-819-2762		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日 12:10~12:40(事前予約す		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	他者と協調・協働して問題解決	ることができる。(環境科学部DP-2) 中にあたることができる。(環境科学 Fーション、レポートなどの基本的学 環境科学部DP-2)	学部DP-5)
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 王体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation		議およびディスカッションへの積極 におけるプレゼンテーション・質疑 のうち60点を合格とする。	-
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れ	 ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会
	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに
アクセシビリティ/Accessibility (for students	□いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
with disabilities)	さい。
,	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面で実施しますが、状況によっては変更する場合もあります。その場合は、LACSで
	連絡します。 「長大生のためのラーニングティップス」
学生へのメッセージ/Message for students	た大主のためのラーニングディックス https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
 実務経験のある教員による授業科目であるか	inttps://www.filliov.flagasaki-u.ac.jp/content-resurt/student/
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
回(日時)/Time(date and time) 第1回	授業内容 / Contents オリエンテーション: 担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第1回 第2回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第1回 第2回 第3回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど 国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)
第1回 第2回 第3回 第4回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) グループ分け、テーマの決定
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) グループ分け、テーマの決定 グループワークの開始(1)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) グループ分け、テーマの決定 グループワークの開始(1) 図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) グループ分け、テーマの決定 グループワークの開始(1) 図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド) グループワーク(2) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)グループ分け、テーマの決定グループワークの開始(1)図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)グループワーク(2)大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキ
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) グループ分け、テーマの決定 グループワークの開始(1) 図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド) グループワーク(2) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) グループ分け、テーマの決定 グループワークの開始(1) 図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド) グループワーク(2) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル) グループワーク(3)
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)大教センター教員による演習・1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)グループ分け、テーマの決定グループワークの開始(1)図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)グループワーク(2)大教センター教員による演習・2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)グループワーク(3)中間報告
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第11回 第11回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど国際交流委員会による留学案内(オンデマンド) 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ) グループ分け、テーマの決定 グループワークの開始(1) 図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド) グループワーク(2) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル) グループワーク(3) 中間報告 グループワーク(4)

学期 / Semester	2023年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030C5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	武藤 鉄司/Tetuji Mutou		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	武藤 鉄司/Tetuji Mutou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	武藤 鉄司 / Tetuji Mutou		
科目分類 / Course Category	 数巻ガミナー 、科日 数巻ガミナ		選択科日 / Flactive Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	開我が恋 / Oourse Style	/央日 / ociiiThai
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tmuto nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、 を®に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部本館 2 階 環211 武藤教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2769 (教員室)		
	水曜日 2 校時		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な 自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	羽田的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される students' thinking other than the above		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回 = 40点) + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考 (1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演 習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要が有れ	ば随時指示する。	

受講要件(履修条件)/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	特に連絡しない限り、対面で実施する。	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等	
第2回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど	
第3回	国際交流委員会による留学案内(オンデマンド)	
第4回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ)	
第5回	グループ分け、テーマの決定	
第6回	グループワークの開始(1)	
第7回	図書館資料収集ガイダンス(オンデマンド)	
第8回	グループワーク (2)	
第9回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル)	
第10回	グループワーク (3)	
第11回	中間報告	
第12回	グループワーク (4)	
第13回	【7/10(月)5校時】 就職委員会によるキャリア教育	
第14回	グループワーク (5)	
第15回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出、まとめ(講評、総括)	